

ISHINOMAKI

# ポテト通信

2024

5



地域 みんなで  
ばれいしょの  
植え付け準備

# 加工用ばれいしょの植え付け



東松島市の農業法人(株)めぐいとでは、およそ20t※のばれいしょの種いもを3月に消毒し、陽光にあてて「芽出し」を行いました。

植え付け予定の直前(3月29日)には人を集めて種いも切りを行いました。

植付前に、種いもの消毒や種いも切りの人員を確保するなど、段取りをしっかりと行うことで、滞りなく作業を進めることがばれいしょ植え付け前のポイントです。

※10aあたり180kg程度の種いもが必要



## 東松島市の(農)おおしお北部

今年も加工用ばれいしょの植え付けが無事終了しました。

当管内では、今年度は5法人で49haの作付けとなっており、作付する法人も作付面積も、年々増加しています。

東松島市の(農)おおしお北部は、29haほどの作付面積となるため、3月末から種いもの植付けが始まり、他の法人も4月初めから10日ごろにかけて植付けを行いました。

植付け機を所有する法人や、カルビーポテト(株)から植付け機をレンタルする法人など、法

人ごとに作業体系は異なりますが、順調に植付けが行われました。

定植前の降雨などでほ場の水分が多いと、土塊となり収穫作業などに影響するため、天候を見極めながら準備することが重要です。

定植前の丁寧な碎土や補助暗きよ・明きよの施工、定植時の植付け深度など最初のほ場準備の段階で今後の生育が左右されます。

植付け前後の作業を徹底し、高収量を目指していきましょう！

# 防除と追肥

ばれいしょは、疫病、夏疫病、軟腐病、そうか病、アブラムシ類、ジャガイモシストセンチュウ類などの病害虫により、被害が生じる場合があります。

昨年は夏季の高温と乾燥が続いたため、夏疫病が発生したほ場がありました。

地上部を十分に生育させることが、地下部を充実させることにつながります。

防除は、茎長10～15cm時から約1週間ごとに7回程度行います。

さらに、追肥は、尿素(茎長20cm以降から花が散るまで)や苦土(開花前茎葉が75～80%



夏疫病が発生したほ場

覆った時期から)を3～5回葉面散布します。

薬剤による予防散布や葉面散布による肥培管理を徹底することが、高収量につながります。

## 地域のばれいしょ栽培を牽引する経営体

# (農)おおしお北部とばれいしょ栽培

宮城県の加工用ばれいしょ生産は、平成18年頃からカルビーポテト(株)が行う菓子用原料の調達をきっかけにはじまりました。

管内では、平成29年に東松島市の(農)おおしお北部が高収益作物として生産に取り組み、好成績を収め今日まで生産を続けています。

同法人では、法人設立から、大豆や牧草を中心にデントコーンなどを組み合わせ、農地を最大限活用した効率的な水田農業を実践してきました。

その中で、収益性を期待できる品目として、加工用ばれいしょ栽培を開始しました。

栽培開始時、3haだった栽培面積は、専用機の導入による機械化一貫体系の確立や栽培管理技術の向上により、現在では、29haまで拡大しました。



R5年度 現地検討会の様子

また、同法人では他地域のばれいしょの植え付けや収穫などの作業も受託しています。

地域内でばれいしょ栽培に適した農地を確保するには限界があるため、他地域の作業を受託することにより、専用機の利用率の向上を図っています。

これまで管内の生産を牽引してきたことで、石巻管内は県内一の産地となっています。

同法人のさらなる規模拡大と生産力向上を期待しています。



ばれいしょの萌芽

# 加工用ばれいしょは 儲かるのか？

買取価格を52円/kgとして、単収3tを確保すると、15.6万円となります。10a当たりの経費は、約11.2万円なので所得は4.4万円です。一定の条件を満たせば、これに産地交付金等が交付され、更に所得は増加します。

令和5年度加工用ばれいしょ優良生産者表彰で宮城県知事賞を受賞した石巻市桃生の(有)サンダーファームは3.8t、高単収部門で最優秀の(株)入沢ファームは3.2tでした。

ばれいしょ単収3tを確保すると、水稲所得の約2倍、労働時間は機械化により水稲の約6割です。

導入をご検討されてはいかがでしょうか。

## カルビーポテト(株)からのお知らせ !!契約生産者募集!!

ばれいしょ栽培未経験でもご安心ください

- ・フィールドマンによる栽培指導あり
- ・植え付け、収穫機械レンタル可能



【お問い合わせ】

カルビーポテト(株)宇都宮支所

TEL:028-662-1561

### EDITOR'S NOTE



宮城県で菓子メーカーとの加工用ばれいしょ(ポテト)の契約栽培が始まり20余年が経過しました。ここ数年で、県内では加工用ばれいしょの契約栽培が広がりを見せ、今では作付けが県内で100ha程度となりました。

平成29年に(農)おしお北部が大規模に取り組みをはじめ、令和5年度には、石巻管内で、およそ40haの作付けとなりました。

また、さつまいも(スイートポテト)も同様に県内で作付けが増えており、当管内では令和元年頃から少しずつ面積が拡大してきています。

こうした状況を踏まえ、ばれいしょ・さつまいも両方の「ポテト生産いろいろ」を石巻地域のみなさまに紹介するため、2年間「ポテト通信」を発行することにいたしました。

今後、ご愛読よろしくお願います。

